

春木 絵莉香 のライフプラン

将来なにになりたいか？ メディアアーティスト

その理由： アートが好き。アートで世界中のみんなに夢のような楽しい空間を感じてもらいたい。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2022年	8(小3)	学校の勉強や習事をがんばる	学費、習事の月謝
2023年	9(小4)	アートに親しむ(絵製作ピアニスト) 国内の美術作品にふれる	コンサートのチケット代、美術館代など
2024年	10(小5)	本をたくさん読む 英語の勉強(英検)	本は図書館を利用する
2025年	11(小6)	中学進学に向けて全教科の学習にしっかり取り組む	塾代
2026年	12(中1)	筑波中学校入学。美術か音楽関係の部活に入る。	中学の学費、楽器を買う場合、楽器代
2027年	13(中2)	夏休みにホームステイ	ホームステイ代など
2028年	14(中3)	高校進学に向けて全教科の学習にしっかり取り組む	塾代
2029年	15(高1)	筑波高校に入学し、勉強や部活をがんばる。夏休みに海外に現地	高校の学費、旅行代
2030年	16(高2)	の文化を見て回る。 高校の「国際交流」プログラムを活用し	短期留学代など
2031年	17(高3)	短期留をする。 大学進学に向けて勉強をがんばる	塾代
2032年	18(大1)	東京大学に入学し、美学芸術学科を専攻する。	大学の学費(国立大学は4年間で約242万)
2033年	19(大2)	留学に必要なTOEFLテストなどの勉強をする。	留学費用(おこづかい)がかかるので奨学金をもらう
2034年	20(大3) 21(大4)	海外の大学に交換留学、アートデザイン事務所インターンをする。	おこづかいにがんばるおし、バイトをしてお金をためる
2035年	22(院1) 23(院2)	大学院で勉強を続ける。	大学院の学費(国立大学は2年間で約135万円)
2036年	24	実務経験を積むためにアートデザイン事務所で働く。	一生涯働いて貯蓄する
2037年	28	マサチューセッツ工科大学メディアラボで研究を続ける。	渡航費用、滞在費、おこづかい、生活費を稼ぐ
2039年	45	オリンピックのような世界中の人たちに見てもらえるような大舞台で演出する。	

※最後の行は、何歳の時にどうなっていたいか、自分で好きな年を入れてみましょう！

「好きなことを全部かなえたい」

筑波大学附属小学校 三年 春木 絵莉香

私が好きなことは、本を読んで今まで知らない新しい世界を知ること、絵を描いたり製作すること、お菓子を作ること、音楽をきいたり演奏すること等、自分の想いや感覚を形や音にして表現することです。加えて、プログラミングを使ってロボットを動かしたり、人とお話することも好きです。これらを全部かなえられる仕事を見つけました。それが、「デジタルアーティスト」という職業です。

今年の春休みに、お台場でやっていた「チームラボ」に遊びに行きました。そこでは、自分の描いた魚の絵をコンピュータで取り込むとそれが壁の水族館に映し出されて泳ぎ出すという遊びを体験しました。みんなが絵に描いたカラフルな魚たちが所せましと泳ぎ回り、それを手でさわろうとする。とまるで本物の魚のように逃げるのです。お台会場場の空間をこえて、世界の他の場所で行われている展覧会の水族館ま

で行き来をする魚もいるそうです。この「お絵かき水族館」のように、デジタル技術を使って映像や音の加えた多方向のアート作品を作り上げるのがデジタルアートの世界だということを知り、すごいな、おもしろいなと興味を持ちました。デジタルアーティストになるためには、デザインや映像、コンピューターなど様々な勉強が必要のため、お金がたくさんかかることが分かりました。今は学校の勉強を第一に、美学芸術学科がある大学に入ることが目標です。その後は、マサチューセッツ工科大学にあるメディアラボというコミュニケーションの課題をテクノロジーで解決する研究所に入り、アメリカでも研究をしてみたいです。そこで得た最新の知識や技術を、日本の文化やアートと融合させて、世界に向けて発信していきたいと思っています。いつかはオリンピックのような大舞台の演出をし、世界中の人たちを楽しませたいというのが私の夢です。